

学校長 式辞

木々の蕾がほころびはじめ、春の息吹を感じる今日の良き日、大阪府立貝塚南高等学校第五十回卒業式を挙げていただきましたところ、来賓の皆様はじめ保護者の皆様、関係者の皆様のご臨席を賜りましたこと誠にありがとうございます。高いところからではございますが学校を代表して心からお礼申し上げます。保護者のみなさま本日ここに、225名の卒業生を送り出すことができました。お子様は人生の中で心身の変化が最も激しい高校生活を終え社会に通ずる人格者へと立派に成長されました。お子様の姿をご覧になり、幼少期から本日までの日々を思い返し、胸を熱くされているのではないかと拝察いたします。教職員一同お子様のご卒業心からお慶び申し上げます。また、これまでにいただいた本校へのご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。VUCA（ブーカ）の時代、今後もお子様の前途を温かく見守り、励まし、支えていただきますようお願い申し上げます。さて、五十期生のみなさん、卒業おめでとうございます。今みなさんの心にはどのような思いが去来していることでしょうか、それぞれが思いうかべるシーンは一人ひとり異なっていることでしょうか。生きる基本は未来創造ですが、今少し振り返ってみてください。そこには皆さんに寄り添う誰かの姿がきっとあったはずです。人は悲喜こもごもの絡み合う人間模様の中で支え支えられ人生を歩みます。今日までの間、そっと心のささくれを繕ってくれた家族、友人、そして先生方。いつも誰かがいてくれたお蔭で本校で過ごした青春時代の厚みが増したことを忘れないでください。私も、みなさんが、それぞれの夢や目標、可能性を追究し、学習活動や部活動、学校行事、生徒会活動等に誠実に取り組む姿、みなさんの成長に元気や勇気をいただきました。ありがとうございます。心から感謝します。みなさんに支えられたこと忘れません。さて、みなさんある海外の経済紙に近年を象徴する言葉の一つとしてエージェント AI が挙げられていました。人間の意思決定を支援する人工知能です。巨大 IT 企業が開発をはじめています。又、デジタルトランスフォーメーションも急速に進展しています。デジタル技術を活用して組織や仕事、文化に変容をもたらします。特に AI との共存はこれからの社会の大きなテーマです。そこで、今、最も大切なことはその中心には人がいるということをお忘れではありません。AI の卓越した能力に無批判に依存するのではなく、本校で体現した well-being を軸に自他の幸福を願うことのできる人間力を高め、AI との協働を通じて新たな可能性を切り開いていただくことを願っています。卒業という人生の大きな節目にあたりお話ししたいことはたくさんありますが、2点に絞ってお伝えします。実社会では時として、答えが一つでない、又、答えがすぐに見つからない、YES でも NO でもない状況があります。その状況にあきらめず向き合う力こそこれから求められる力であるように思います。これまでの価値観を普遍的なものだと捉えず視野を広げ、出会った人や環境から常に学び、先に広がる新たな解を見出だして下さい。一つ目は旧態に拘らない、ビヨンド・ザ・バウンダリーの視点を持つことです。二つめは利他の心です。本校のスクールミッションの骨子は、well-being な学校づくりです。この理念はグローバルに浸透することを願っています。実現に向けては在学中にみなさんに伝え続けた周囲への思いやりがもっとも重要です。自分自身の思いのままに動くのではなく、自分の思いをもコントロールし、他者のために動き、他者の幸せを願う人が本当に自立した主体的な人であり、そうなることが人としての真の成長、成熟であると思います。何事も誠実にひた向きに取り組んで下さい。

うちにかえりみて、やましからざれば、それ、なにをか、うれえ、なにをか、おそれん、以上記憶に留めていただき個々に解釈いただければ幸いです。結びに、五十期生のみなさんの益々のご健勝並びにご活躍、ご臨席賜りました皆様方のご多幸を念じ式辞と致します。

令和 八年二月二十七日
大阪府立貝塚南高等学校
校長 藤田 繁也